

2026 年度シラバス

中学 1 年



駒沢学園女子中学・高等学校

宗 教(2026 年度)

単位数	1 単位
担当	遠藤 光賢
教科書	駒沢学園の仏教 道徳 1(光村図書)
対象生徒	中学 1 年

1. 授業の目標

駒沢学園の歴史と建学の精神を理解し、仏教主義学校としての理念を学ぶと共に、道徳に替わる教科として宗教に関する一般的な知識と教養を養い、興味関心を高めることにより、現代社会の諸問題に関する考察力を身に着ける。

〔中期目標〕

建学の精神・日々のお唱えの意味と目的を学ぶことにより、駒沢学園がめざす生徒像を理解すると共に、釈迦の生涯を学ぶことにより、仏教の持つ道徳的な考え方を理解し、自分で考え行動できるようになる。

〔長期目標〕

仏教を基盤とした道徳的な理念を理解し、より良き生きるためにどのように行動すべきか考えられるようになる。あわせて、「いのち」について考え、どのように生きていくことが大切か、各自が自分のこととして考えられるようになる。あわせて、仏教という視点から SDGs や国際 Day などについても考える機会を持つよう授業を展開する。

2. 副教材・参考書

駒沢学園の仏教(駒澤学園)
道徳 2(光村図書)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

朝礼や終礼・会食でお唱えする「三帰礼文」・「四弘誓願文」・「五観の偈」などを、丁寧にお唱えしましょう。また、式典への積極的な参加や挨拶や清掃など日々の活動を大切にすることが、授業の理解にもつながります。試験に向けては、テキストをきちんと読めるようになっておいてください。

4. 宿題・課題・再試について

宗教科の授業で取り上げる社会の諸問題に関する探究授業では、グループワーク・発表を含みます。視聴覚教材を見ての、感想や意見などをロイロノートに提出します。予習・復習課題は、ロイロノートに提出します。坐禅実習には真剣に取り組みましょう。

5. 評価の基準について

・単元テストの得点(70%)、提出物と坐禅実習(30%)により評価をする。

評価方法	割合	評価基準
単元テスト	80	単元テストの点数
提出物	20	授業ごとのまとめや課題、予習復習内容など。

6. その他

・授業内容は、実際の授業時間数などにより、順番が前後したりすることもあります。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	期末	1、「三帰礼文」の読みと意味を考える。 2、「花まつり」について【p52～p56】 ・「花まつり」が日本の季節の行事としてどのように受け入れられていたかについて学ぶ。 ・「花まつり」を題材として、「生命の誕生」とは何か、「いのち」とは何か考える。 3、「四弘誓願文」の読みと意味を考える。 4、「五観の偈」を通して、現代の食・食育についての問題点などについて考える。 【SDGs 対象授業】 5、ヨガの国際デー ヨガの原点を学び実践する 6、坐禅実習

<p>二 学 期</p>	<p>期 末</p>	<p>1、「追善記念日」について【p57】 【SDGs 対象授業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事としての「追善記念日」 ・「死」とはどのようなことか考える。 ・日本人は死についてどのように考えたのか、「地獄」・「極楽」などと結びつけながら学習する。 <p>2、道元の生涯について (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生から中国での中業の要すまでを学習し、道元の悩みと行き方について、現代社会での問題と照らし合わせて考える。 <p>3、「摂心会」と「成道会」について【p58～p61】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事としての「摂心会」と「成道会」 ・摂心会が日本にどのように取り入れられてきたのか考える。 ・自分の生きる目的や意義について考える。 <p>4. 写経・写仏</p> <p>5、坐禅実習</p>
<p>三 学 期</p>	<p>学 年 末</p>	<p>1、「誕生記念日」について【p62～p63】 【SDGs 対象授業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事としての「誕生記念日」について考える。 <p>2、「涅槃会」について【p64～p65】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事としての「涅槃会」について考える。 <p>3、道元の生涯 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本に戻ってからの道元の生き方について考える。 <p>4、「山上忌」について【p66～p67】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事としての「山上忌」について考える。 <p>5、坐禅実習</p>

①中学1年 国語（現代文分野）

単位数	5単位の3
担当	中野 早苗
教科書	国語1（光村図書）
対象生徒	中学1年

1. 授業の目標

「言葉」を楽しみ、文学作品に親しむ気持ちを育てる。

到達目標

- (ア) 本を年間30冊以上読み、語彙力・表現力を身に付ける。
- (イ) 漢検5級以上を取得する。
- (ウ) 予習をして授業に臨み、学習の習慣を定着させる。

2. 副教材・参考書

・国語ワーク（光村教育図書） ・新国語便覧（秀学社） ・セレクト漢字検定5級～2級

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- (ア) 予習・復習を宿題という形で随時出すので、生徒たちは必ず宿題を終えた上で授業に参加する。
- (イ) 授業の内容は毎時間明確に提示し、終了時に確認する。
- (ウ) 学習活動・課題は積極的に取り組めるよう工夫する。
- (エ) 提出物は完成した形で、期限を守って提出する。

4. 宿題・課題・再試について

- (ア) 宿題…原則、毎時間出す。
内容は授業で学習した範囲の復習と次の授業の予習を中心とする。
- (イ) 課題…1単元終了ごとに単元別試験を実施する。レポート作成などを行う場合もある。
- (ウ) C' Range テストを導入し、漢検5級以上の取得を目指して学習とテストを繰り返す。

5. 評価の基準について

- (ア) 単元別試験 50%
- (イ) 学力試験 30%
- (ウ) 以下の5点をパフォーマンス評価とし、20%
 - 宿題の提出状況
 - 課題の評価
 - 小テストの得点
 - 授業内に実施する音読や発表内容の評価
 - 授業態度

なお、観点別評価については単元別試験・学力試験を100%換算とし、つけることとする。

6. その他

C' Range 実施については、以下の通りとする。

- ① 1週間に1度、授業時間内で「セレクト漢字検定5級～2級」内の読み・漢字検定問題演習をMicrosoft Forms上のテストにて実施。
- ② 漢字の書き問題は、新出漢字も含めて毎回の単元別試験に盛り込む。
- ③ 1週間に1度、試験範囲の漢字練習を「セレクト漢字検定5級～2級」に直接取り組み、提出させる。
- ④ 100点満点、合格点を70点以上とし、不合格の場合は適宜課題や補習を課す。

年間指導計画				
学期	月	教科書ページ 単元配当時間	授業内容（教材）	指導内容・単元目標・ 備考等
第 一 学 期	4	中扉 P14～20	ガイドダンス 詩『朝のリレー』 言葉に出会うために 声を届ける 詩『野原はうたう』	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習活動の説明 ・心情を表す言葉に着目して、 作品の理解を深める。 ・段落に着目して文章を読む。 ・各段落の関係、要点、要旨 を理解する。 ・段落の役割に着目して文章 を読む。 ・文章から新しく得た情報を もとに、自分の考えを広げる。
	5	P22～29 P34～37 P38～39	物語『はじまりの風』 話の構成を工夫しよう 漢字の組み立てと部首	
	6	P40 P42～45 P31～33	漢字に親しもう1 説明『ダイコンは大きな根？』 情報を聞き取り、要点を伝える	
	7	P46～51 P52～53 P54～57	説明『ちょっと立ち止まって』 比較・分類 指示する語句と接続する語句	
		P62～66 P67～70	空の詩 三編 詩の創作活動 さまざまな表現技法	
第 二 学 期	9	P71～74 P76～77 P78～83	説明『比喻で広がる言葉の世界』 語彙を豊かに 情報収集の達人になろう	<ul style="list-style-type: none"> ・時代や状況の中で自分を見 つめ生き方を深めていくこ との大切さを考える。 ・登場人物の行動や情景描写 に着目して読み、その気持 ちや作者の思いをとらえ る。 ・文脈の中の言葉に注意しな がら情景を想像して作品を 読む。 ・文章の中心となる部分とそ れを支える部分を読み分け 筆者の述べていることを読 みとる。
	10	P96～105 P116～118 P119～121	物語『大人になれなかった弟たちに……』 項目を立てて書こう 方言と共通語	
	11	P126～135 P124～125 P126	小説『星の花が降るころに』 漢字の音訓 漢字に親しもう	
	12	P128～137 P188	記録『「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ』 原因と結果 漢字に親しもう3 意見『「不便」の価値を見つめ直す』 漢字に親しもう4	
第 三 学 期	1	P206～P221 P222	小説『少年の日の思い出』 漢字に親しもう5	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を読み、登場人物のもの の見方や考え方について、 自分の考えを持つ。 ・場面展開や人物の描写に注 意して読み、登場人物の心 情の移り変わりをとらえ る。 ・詩の中の言葉や表現を、作 者の思いを想像しながら読 み味わう。
	2	P224～227 P228～231 P232～233	随筆『二十歳になった日』 構成や描写を工夫して書こう 漢字の成り立ち	
	3	P229 P238～240	漢字に親しもう6 詩『ぼくが ここに』	

②中学1年 国語（古典・文法分野）

単位数	5単位の1
担当	中野 早苗
教科書	国語1（光村図書）
対象生徒	中学1年

1. 授業の目標

古典への興味関心を育てる。
自分の考えや感想を整理して、文章にする。
表現活動を通じて、伝え合う力を養う。

到達目標

- (ア) 古文・漢文を読み慣れる。
- (イ) 百人一首を覚える。
- (ウ) 文法的な知識を得る。

2. 副教材・参考書

- ・国語ワーク（光村教育図書）
- ・新国語便覧（秀学社）
- ・文法の学習（浜島書店）
- ・小倉百人一首（京都書房）

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習・復習のポイント等

- (ア) 古文・漢文のリズムを体得できるように音読をする。
- (イ) 予習・復習を宿題という形で随時出すので、生徒たちは必ず宿題を終えた上で授業に参加する。
- (ウ) 授業の内容は毎時間明確に提示し、終了時に確認する。
- (エ) 学習活動・課題は積極的に取り組めるよう工夫する。
- (オ) 提出物は完成した形で、期限を守って提出する。

4. 宿題・課題・再試について

- (ア) 宿題…原則、毎時間出す。
内容は授業で学習した範囲の復習と次の授業の予習を中心とする。
- (イ) 課題…1単元終了ごとに単元別試験を実施する。暗唱テストなどを行う場合もある。
- (ウ) 4週間に1度、新中学問題集を1課題ずつ自宅学習し提出する。

5. 評価の基準について

現代文分野と合算し評価する。

6. 書写について

月に1度程度で実施し、書き初めの前には授業内で行う 担当教諭：木立 マリコ

学期	月	教科書ページ 単元配当時間	授業内容 (教材)	指導内容・単元目標・ 備考等
第一 学期	4	文法の学習 P4～21 教科書 P154～155 P174	百人一首 1～10 いろは歌 文法 (言葉の単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に慣れ親しむ。 ・ 歴史的仮名遣いの習得。 ・ 暗唱。 ・ 古典の基礎を学ぶ
	5		百人一首 11～20 いろは歌 文法 (文節の働き：主語と述語)	
	6		百人一首 21～30 漢文の基礎 文法 (文節の働き：修飾語と被修飾語)	
	7		百人一首 31～40 返り点の読み方 文法 (文節の働き：並立・補助の関係)	
第二 学期	8	文法の学習 P22～37 教科書 P156～169 便覧 P15	百人一首 41～50 翁、かぐや姫を見つける 文法 (文の組み立て：指示する語句)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に慣れ親しむ ・ ・ 古典の文章を朗読し、その表現に慣れ、作品を読み味わう。 ・ 場面の状況や登場人物の心情を考える。 ・ 古文の基礎を学ぶ
	9		百人一首 51～60 五人の貴公子たち 文法 (単語の種類：自立語と付属語)	
	10		百人一首 61～70 帝からの求婚と、月を見てなげき悲しむ～ 文法 (単語の種類：活用)	
	11		百人一首 71～80 月の満ち欠け ふじの山 文法 (単語の種類：品詞)	
第三 学期	1	文法の学習 P38～43 教科書 P170～174 便覧 P128～133	百人一首 81～90 今に生きる言葉・矛盾 文法 (体言：名詞)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に慣れ親しむ ・ 漢文の基礎を学ぶ ・ 故事の背景と教訓を学ぶ。
	2		百人一首 91～100 今に生きる言葉・故事成語	
	3			

③ 中学1年 国語（講読・表現分野）

単位数	5単位の1
担当	中野 早苗
教科書	指定された図書・国語1（光村図書）
対象生徒	中学1年

1. 授業の目標

「言葉」を楽しみ、文学作品に親しむ気持ちを育てる。
教科書の「話すこと」「聞くこと」「書くこと」の分野を学習し、基礎を身に付ける。

到達目標

- (ア) 本を年間30冊以上読む。
- (イ) 読んだ本について感想や意見を書くことができる。
- (ウ) 自分の考えをスピーチすることができる
- (エ) 根拠を明確にして意見をまとめることができる

2. 副教材・参考書

・新国語便覧（秀学社） ・プリント

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- (ア) 学習活動・課題は積極的に取り組めるよう工夫する。
- (イ) 提出物は完成した形で、期限を守って提出する。

4. 宿題・課題・再試について

- (ア) 宿題…1か月単位で出す。
- (イ) 課題…1単元終了ごとに、レポートや作品の作成を実施する。

5. 評価の基準について

課題の評価を中心として評価をつける。その他の基準としては宿題の提出状況とする。
上記の課題は主にパフォーマンス評価の中に盛り込むこととする。

6. 指定図書

『銀河鉄道の夜』 宮沢賢治 講談社青い鳥文庫

社会科（地理）（2026年度）

単位数	2単位
担当	栗山 美緒
教科書	中学生の地理(帝国書院)、中学校社会科 地図帳 (帝国書院)
対象生徒	中学1年

1. 授業の目標

地球上の位置の表し方や球面上の位置関係をとらえる技能・知識を身につける。世界の地域区分や国々の名称と位置などをもとに世界の地域構成を学ぶ。世界の国々の文化や慣習に触れながら、幅広い視野に立って世界を見渡す姿勢を身につける。

2. 副教材・参考書

- ・マイクリア社会
- ・適宜, 参考プリント・ワークシートを配布する。

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に教科書に目を通し、全体の把握を出来るようにしておくこと。
- ・授業中に配布するワークシートを解き、授業の振り返り・復習をすること。
- ・普段からニュース・新聞などで世界の様子に目を向けること。

4. 宿題・課題・再試について

- ・宿題・課題は、授業内容を受けて、ワークを使用する。提出状況をパフォーマンス評価の対象とする。
- ・定期試験の結果が25点未満の場合は再試を受験しなければならない。合格点は30点以上とする。

5. 評価の基準について

- ・単元テストの得点(50%), 学力試験(30%), 発表・ノート(20%)により評価をする。
- ・観点別評価をつける。

6. その他

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	1	世界の姿
	2	日本の姿
	3	世界各地の人々の生活と環境
二学期	4	世界の諸地域 アジア州
	5	世界の諸地域 ヨーロッパ州
	6	世界の諸地域 アフリカ州
三学期	7	世界の諸地域 北アメリカ州
	8	世界の諸地域 南アメリカ州・オセアニア州

社会（歴史）（2026 年度）

単位数	2 単位
担当	栗山 美緒
教科書	新しい社会 歴史(東京書籍)
対象生徒	中学 1 年

1. 授業の目標

- ・時代区分の意義や年代の表現について理解する。
- ・資料を分析し情報を整理する技能を身に付ける。
- ・歴史上の人物や出来事を詳細に考察する力を養う。
- ・歴史への関心を深め、国際協調の精神を育てる。

2. 副教材・参考書

- ・マイクリア社会
- ・授業プリントを配布します。適宜、参考資料も配布します。

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・現代社会は急速に変化している一方、資源管理やジェンダーなどに起因する不平等など世界全体では様々な問題に直面しています。これらの問題を考えるうえで歴史的な知識は非常に重要になってきます。そのため日々の学習の中で少しでも歴史に触れる時間を設け、知識の暗記にとどまらない深い理解をするように努めてください。
- ・学習の中でわからないことなどがあつたら、すぐに質問してください。
- ・授業プリントは B5 サイズで配布します。B5 サイズのプリントが貼れるノートを準備してください。

4. 宿題・課題・再試について

- ・授業中の課題や発表などにも積極的に取り組んでください。
- ・語句確認のワークに取り組んでください。
- ・定期試験の結果が 50 点満点中 25 点未満の場合は再試を受験しなければなりません。

5. 評価の基準について

- ・単元テストの得点(50%)，学力試験(30%)，発表・ノート(20%)により評価をする。
- ・評価は歴史と地理を合わせたものとする。
- ・観点別評価をつける。

6. その他 授業の進度により、内容は変わることもあります

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	1	第 1 章 歴史のとらえ方・調べ方 第 2 章 原始・古代の日本と世界 ・人類の出現と文明のおこり
	2	・日本の成り立ちと倭の王権 ・大帝国の出現と律令国家の形成
	3	・貴族社会の発展
二学期	4	第 3 章 ・武家政治の始まり
	5	・ユーラシアの動きと武家政治の変化
	6	・結びつく民衆と下剋上の社会
三学期	7	第 4 章 ・結びつく世界との出会い
	8	・天下統一への歩み

単位数	4単位
担当	萩原・小西
教科書	数研出版 中学数学1
対象生徒	中学1年 必修

1. 授業の目標

- (1) 数を正の数と負の数拡張し、数の概念についての理解を深める。また、文字を用いることの意義及び方程式の意味を理解するとともに、数量などの関係や法則を一般的にかつ簡潔に表現し処理できるようにする。
- (2) 平面図形や空間図形についての操作や実験などを通して、図形に対する直感的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察する基礎を培う。
- (3) 変化や対応についての見方や考え方を深め、関数関係を理解し、それを表現したり用いたりする能力を伸ばす。

2. 副教材・参考書

数研出版 中学数学 完全準拠 スタンダード問題集1
新学社 数学のベーシックマスター 1年

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

予習のポイント:教科書の内容を読み,その単元の関係ある小学校の内容をしっかり復習し理解しておく。

復習のポイント:その日の授業で解いた問題を,もう一度解き,答え合わせをする。この勉強を毎日積み重ねることにより,確実な力を身につける。また,1つの単元が終わるごとに,問題集等でもう1度自分の理解・記憶を確かめることも大事である。

基本的な学力がいたら問題集の応用問題を数多く解き,数学的な応用力・思考力を身につくようにする。

4. 宿題・課題・再試・評価について

M'Range Test は毎週日曜日までに課題を提出し,月曜日にテスト。
70点未満の者は水曜日に再試を行う。

宿題は,プリント,問題集など適宜出題する。

まとめテスト 50点未満再試 単元テスト 25点未満再試 50%の評価

学力試験 30%の評価

パフォーマンス評価 Mレンジテスト 8% 提出物 8% 振り返り 4% の評価

5. その他

1月の数検で全員5級取得を目指す。

年間指導計画

学期	単元テスト	授業内容 (教材)	指導内容・単元目標・実験・備考等
第一 学期	単元テスト① (5月)	1章 正の数と負の数 ①正の数と負の数 ②加法と減法	数を負の範囲まで拡張する必要性を感じ、負の数の性質を理解することができる。正の数と負の数の加法減法の意味を理解し、それらの計算に習熟できる。
	単元テスト② (5月)	③乗法と除法 ④いろいろな計算 ⑤素因数分解	正の数と負の数の乗法除法の意味を理解し、四則演算ができる。またそれを通し、数の概念について理解することができる。
	単元テスト③ (6月) 6月23日～ まとめテスト①	2章 文字と式 ①文字と式 ②文字式の計算	文字を使って式に表すことの良さを知る。文字式の表し方の約束を理解し、数量を文字式であらわすことができる。 文字式の簡単な計算ができる。数量の間の関係を表すことができる。
第二 学期	単元テスト④・⑤ (9月)	3章 1次方程式 ① 1次方程式 ② 1次方程式の利用	方程式とその解を理解することができる。等式の性質を使って方程式を解くことができる。1次方程式を使って、いろいろな実際の問題を解決することができる。
	単元テスト⑥ (10月)	4章 比例と反比例 ①比例 ②反比例 ③比例、反比例の利用	事象の中から比例や反比例の関係を取りだし、意味を理解することができる。比例、反比例の関係をグラフにし、特徴を調べることができる
	単元テスト⑦ (11月) 11月26日～ まとめテスト②	5章 平面図形 ①平面図形 ②作図 ③円とおうぎ形	平面上の直線、線分、角の意味とその表し方を理解することができる。直線の位置関係や図形の移動感が形を通して平面図形に対する見方を深める。
第三 学期	単元テスト⑧ (1月)	6章 空間図形 ①空間図形 ②立体の表面積と体積	空間における直線や平面の位置関係を理解することができる。空間図形を平面図形の運動として構成的にとらえることができる。
	単元テスト⑨ (2月) 3月1日～ まとめテスト③	7章 資料の整理とその活用 ①資料の整理とその活用 ②累積度数 ③ことがらの起こりやすさ	資料を整理し、資料を読み取ってその特徴を捉えることができる。

中学1年 理科 (2026年度)

単位数	3単位
担当	稲津 敦
教科書	中学校 科学1 (学校図書)
対象生徒	中学1年生

1. 授業の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

2. 副教材・参考書

Key ワーク理科1年 (教育開発出版)

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・授業後にその日学習した内容について、教科書・ノートを見直し、復習をする。
- ・副教材のテキストを解き、基礎用語を確認し、応用問題で分からないところは質問をする。

4. 宿題・再試について

宿題：定期的に問題集やノートを提出する。提出状況をパフォーマンス評価の対象とします。

長期休暇には、別問題集や自由研究などを宿題にします。

再試：単元別 (まとめ) 試験の点数が基準に満たない場合、再試験や課題を行います。

5. 評価の基準について

- ・定期試験(50%)、学力試験(30%)、パフォーマンス(20%)により評価をする。

6. その他

授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は既習範囲の復習を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容
一学期	単元①	[生物]動植物の分類 1. 身近な生物の観察 2. ふえ方による分類
	単元②	3. 植物の分類 4. 動物の分類
	単元③	[化学]身の回りの物質 5. 物質の分類 6. 粒子のモデルと物質の性質
二学期	単元④	7. 気体の性質 8. 粒子のモデルと状態変化
	単元⑤	[物理]身のまわりの現象 9. 光の進み方 10. 光の屈折の利用
	単元⑥	11. 音の性質 12. 力のはたらき
三学期	単元⑦	[地学]大地の活動 13. 火山 14. 地層
	単元⑦	15. 地震 16. 大地の変化と恵みや災害

保健体育(2026年度)

単位数	3単位
担当	井上
教科書	
対象生徒	中学1年 ※選択等であれば記載

1. 授業の目標

- ・運動の楽しさや喜びを味わい、基本的な技能を身に付ける。
- ・運動を通して体力の向上を図る。
- ・競走や協同の経験を通して公正さ・協力性・自分の役割を知ることが育てる。
- ・生涯を通しての健康の大切さを学ぶ。

2. 副教材・参考書

ステップアップ中学体育（大修館）

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・ケガのないように準備運動をしっかりと行う。
- ・説明をしっかりと聞き、安全を第1に考える。

4. 宿題・課題・再試について

各運動における競技施設やルールについて調べ学習をおこなう。

5. 評価の基準について

- ・実技試験1(50%)、実技試験2(50%)により評価をする。

6. その他

授業計画 (ダンス)		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	実技	駒女体操 順番を覚える
	実技	からだ作り 柔軟 ストレッチ 筋トレ
二学期	実技	マット運動 前転 後転 開脚前転 開脚後転 倒立前転 側方回転
三学期	学年末	跳び箱 開脚飛び(縦・横) 縄跳び検定

授業計画 (スポーツ)		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	実技	スポーツテスト 50M走・ハンドボール投げ・立ち幅跳び 体育祭種目練習 水泳 クロール・平泳ぎ
二学期	実技	バスケットボール ドリブル・パス・シュート チェストパス ドリブルシュート レイアップシュート ゲーム 持久走 グラウンド3周・5周
三学期	実技	バレーボール パス サーブ ゲーム

中学1年 音楽(2026年度)

単位数	2単位
担当	平田亮介
教科書	中学生の音楽1 (教育芸術社)
対象生徒	中学1年

1. 授業の目標

- ・音楽活動を通して、表現の能力を高めるとともに、音楽を愛する心を育む。
- ・音楽の構造に関心を持ち、主体的に表現を工夫して取り組む。
- ・鑑賞を通して、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

2. 副教材・参考書

中学生の器楽(教育芸術社)

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・合唱、合奏はクラスで一つのものを作り上げることを主とするので、授業では指示や説明をしっかりと聞き、集中するよう心がける。(授業準備なども含む)
- ・実技(歌唱、リコーダー)の上達に向けて、積極的に授業に参加することが望ましい。
- ・プリント類などの提出物は期限内に提出する。
- ・授業内筆記テスト前には確認プリント等を復習してから受験する。
- ・歌唱や器楽の練習の参考になる音源や動画を使い、授業の振り返りを行う。

4. 宿題・課題・再試について

- ・授業中に終わらなかった課題は宿題とする。

5. 評価の基準について

- ・学期毎に授業内で筆記テスト(小テスト)と実技テスト(歌唱、リコーダー等)を行い、実技テストを重視する。
- ・実技70% 筆記20% 提出物10% ※割合は学習内容に応じて変更する場合がある。
- ・実技試験の評価基準は、指導の中であらかじめ生徒に伝える。
- ・観点別評価をつける。

6. その他 授業計画は予定であり、内容が変更となる場合がある。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	期末	歌唱 校歌、We' ll find the way～はるかな道へ～、その先へ、 主人は冷たい土の中に 器楽 ソプラノリコーダー 喜びの歌 かつこう 鑑賞 春 第1楽章 楽典 音符の種類と長さ、音部記号、リズムゲーム 創作 マイメロディー
二学期	期末	器楽 アルトリコーダー 喜びの歌、さんぼ道、かつこう 歌唱 浜辺の歌、赤とんぼ、仏教聖歌(道元禅師賛歌、成道会の歌、四弘誓願文) 鑑賞 ジョーズのテーマ 魔王 創作 レッツクリエイイト Garageband
三学期	学年末	合唱 合唱祭に向けて 鑑賞 雅楽「平調 超天楽」 楽典 音名、拍子

中学1年美術（2026年度）

単位数	2単位
担当	高橋 千草
教科書	美術1年 日本文教出版
対象生徒	中学1年

1. 授業の目標

(1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。

(2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。

(3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

2. 副教材・参考書

特になし

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・授業内で疑問を解決し、計画的に作品を完成できるような姿勢で参加することが望ましい。
- ・授業を欠席した場合は提出期限前までに放課後自主的に不足分を補う事が望ましい。
- ・課題制作の上で試行錯誤しながらも粘り強くチャレンジする姿勢が望ましい。
- ・課題は期限までに完成させ必ず提出する。

4. 宿題・課題について

- ・授業内で課題が完成されない場合は宿題となる。

5. 評価の基準について

- ・各学期の課題（提出物100%）により 評価をする。
- ・観点別評価をつける

6. その他

授業計画は予定であり、授業の進捗状況臨時休校により課題の増減がある場合もある。

リモート授業等で授業内容の変更あり

	授業計画
1学期	鑑賞 絵画・色彩 絵画（水彩・鉛筆） デザイン（平面構成）
2学期	デザイン（平面構成） 絵画（抽象・鑑賞） 立体（木工）
3学期	デザイン（文字・マーク）

中1英語(2026年度)

単位数	5単位
担当	山本(里)・ルナ
教科書	Here We Go(光村出版)
対象生徒	中学1年

1. 授業の目標

- (1) 教科書の表現を利用して、自分の言葉で身の回りのことを表現できる英語力を身に着ける。
- (2) 自分に必要な課題を設定して、自ら学ぶ姿勢を養成する。
- (3) 教科書の内容を何度も繰り返し、聞く・書く・話す・読むことによって、中学英語の定着を図る。

2. 副教材・参考書

光村図書版 中学必修テキスト
光村図書出版 Here We Go ワークブック

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

予習のポイント：各 Unit の内容を音声で聞いて、音声から内容を理解する。

復習のポイント：その日に学習した Unit の内容を何度も聞いたり、音読したりする。暗唱できるぐらい音読することが英語力の土台を築くために重要である。また、英語は日頃から自分で楽しく自己学習できる学習方法を模索することが大切なので、English Marathon という自己学習記録表を活用して、日々楽しみながら英語学習方法を継続できるように工夫をする。

4. 宿題・課題・再試・評価について

- ・E-Range Test は隔週1回程度実施。70点未満の者は再試をする。
- ・宿題は、音読・ワークブック・ライティング等を適宜課題として出す。
- ・単元テストは結果の50%未満は再試または課題を課す。

5. 評価の基準について

単元テスト(50%の評価)、学力試験(30%の評価)、パフォーマンス評価(20%)により評価する。
パフォーマンス評価は英会話の授業での発表が10%の評価、提出物が10%の評価となる。

6. その他

- ・English Marathon(学習記録表)を課す。自分にとって必要な英語課題を探して、毎日継続すること。
- ・年12回のオンライン英会話を行う。(所要時間25分間)

授業計画		
学期	単元テスト	授業内容 (教材)
一学期	4月 単元テスト1	アルファベット・月・数字の学習
	5月 単元テスト2	Round 1 Unit1~Unit3 までリスニングと文字と音声の一致 教科書本文のおおまかなストーリー理解が目標。繰り返し教科書本文の内容を聞き、それぞれの Unit のストーリーの概要や登場人物の特徴などを捉えることができる。 Round2&3&4 Unit1 音読と教科書の内容定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit1 本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	6月 単元テスト3 単元テスト4	Round2&3&4 Unit2&3 音読と教科書の内容定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit2&3 本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	7月 まとめの単元 テスト	単元テスト1~4の内容をまとめるテスト。
二学期	9月 単元テスト5	Round 1 Unit4~Unit6 までリスニングと文字と音声の一致 教科書本文のおおまかなストーリー理解が目標。繰り返し教科書本文の内容を聞き、それぞれの Unit のストーリーの概要や登場人物の特徴などを捉えることができる。
	10月 単元テスト6 単元テスト7	Round2&3&4 Unit4&5 音読と教科書の内容の定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit4&5 の本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	11月 単元テスト8	Round2&3&4 Unit6 音読と教科書の内容定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit6 の本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	12月 まとめの単元 テスト	単元テスト5~8の内容をまとめるテスト。
三学期	1月 単元テスト9	Round 1 Unit7~Unit8 までリスニングと文字と音声の一致 教科書本文のおおまかなストーリー理解が目標。繰り返し教科書本文の内容を聞き、それぞれの Unit のストーリーの概要や登場人物の特徴などを捉えることができる。
	2月 単元テスト10	Round2&3&4 Unit7&8 音読と教科書の内容定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit7&8 の本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	3月 まとめの単元 テスト	単元テスト9~10の内容をまとめるテスト

技術家庭（2026年度）

単位数	2単位
担当	関野 心寧（家庭）
教科書	新 技術・家庭（教育図書）
対象生徒	中学1年

1. 授業の目標

衣生活、食生活などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、衣生活、食生活分野において【SDGs 12: つくる責任つかう責任】を意識し、行動する力を養う。

2. 副教材・参考書

- ・エプロン製作（アイセック コットンツイルでつくるかんたんキッチンエプロン）
- ・基礎縫い練習キット

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・教科書の内容について理解を深め、プリントや課題に取り組む。
- ・提出期限までに作品が仕上がるよう努める。

4. 宿題・課題・再試について

- ・授業プリント、課題、作品など提出物をパフォーマンス評価の対象とする。
- ・試験の結果が50点未満の場合、再試又は課題を課す。

5. 評価の基準について

- ・1学期：作品(100%)
- ・2学期：まとめテスト(80%)、課題(20%)
- ・3学期：まとめテスト(80%)、作品(20%)

6. その他

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	なし	第4章 私たちの衣生活 5 衣服を計画的に活用できるようになろう 1布を使ってつくってみよう 〈実習：エプロン製作〉
二学期	まとめ テスト	第1章 健康と食生活 1 食事の役割を考えよう 2 健康によい食習慣について考えよう 第2章 何をどれだけ食べたらよいか 1 栄養素の種類と働きを知ろう 2 中学生に必要な栄養の特徴を知ろう 3 食品に含まれる栄養素を調べよう 4 1日に必要な食品の種類や概量を知ろう 5 1日分の献立を考えよう 〈調理実習〉
三学期	まとめ テスト	第4章 私たちの衣生活 1 衣服の働きを知ろう 2 目的に合わせて自分らしく着よう 3 自分に合った衣服を手に入れよう 〈実習：基礎縫い〉

中 1 書写

単位数	月 1 単位
担当	木立マリコ
教科書	中学書写 (光村図書)
対象生徒	中学 1 年美

1. 授業の目標

- ・字形を整え文字の大きさ、配列、配置に気を付けて書く。
- ・読みやすく書くための楷書、読みやすく速く書くための行書を学ぶ。

2. 副教材・参考書

別冊 書写ブック

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・時間配分を考え、できるだけ集中して練習できるようにする。
- ・用具の取り扱いに十分注意する。

4. 宿題・課題・再試について

基本的に 2 時間で一度、作品提出をする。

5. 評価の基準について

- ・提出作品により基本となる評価を付ける。
- ・提出作品は全体の八割を占め、残りの二割がノート点と授業態度点。
- ・作品の出来があまり良くなくても、コツコツと努力を重ねている者に関しては考慮する。

6. その他

年間計画は変わる場合がある。

学期	月	時	単元・教科書ページ	授業内容 (教材)	指導内容・備考等
1	5	2	姿勢・筆記具の持ち方 用具の準備・片付け 点画の種類 楷書の学習「天地」	P、30～39 プリント P、40～43	・用具・学習態度の確認 ・楷書の筆使いと字形
		6	名前の練習 夏休みの課題	プリント P、44～45	・自身の名前を書く ・字母の学習 楷書でいろは歌
2	9	1	行書の学習「緑」	P、50～53	・行書の筆使い ・点画の連続と省略
		10			・点画の省略と筆順
		11	書き初め	P、141～152 P、54～57	・条幅に書く ・行書と仮名の調和
3	12	1	書き初め (本番提出)		・10枚書いて提出
		2	冬休みの課題 行書の学習「大木」		・行書の筆使い ・点画の連続と省略

単位数	1 単位 (10 月りんどう祭まで)
担当	中村 敦子、早川 日加里、鈴木 若葉、ES
教科書	オリジナルプリント
対象生徒	中学 1 年生～中学 3 年生

1. 授業の目標

- ①中国の音声と音のしくみに親しみ、日常の挨拶や自己紹介を中国語でできるようにする。
- ②中国の文化や生活に興味を持って、日本との違いを比較してみる。

2. 副教材・参考書

オリジナルプリント

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

授業で配布するプリントをファイリングして、毎回の授業に持ってくること。

授業で学んだ中国語表現を家庭でも発音してみること。

中国について、観光やドラマ、文化など、興味・関心のある分野で自ら調べるなどすると、より学習効果がある。

4. 宿題・課題・再試について

りんどう祭発表に向けて、調べ学習やプレゼン用のスライド作成など課されることがある。

発表は、授業内で意見を出しあい、内容を決定する。

5. 評価の基準について

- ・授業への出席状況によって評価する。

6. その他

・中 1 は、韓国語・フランス語・中国語のうち必ず 1 つを選択する。中 2・中 3 は、日本文化・プログラミングを加えた 5 つから 1 つを選択する。

・りんどう祭では、全ての授業が、講堂ステージで、成果発表を行う。

授業計画	
学期	授業内容 (教材)
前期 (りんどう祭まで)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 様々な中国語の挨拶 2. 中国語で自己紹介、自分の名前を中国表記で書く 3. 中国の発音(ピンインと声調のしくみ) 4. 簡体字と繁体字 5. 中国の文化と生活 6. 基本的な中国語の会話 7. 基本的な中国語の文法 8. りんどう祭に向けての発表準備

21WS 前期 韓国語(2026 年度)

単位数	1 単位
担当	権 本間 井上 山本 (里)
教科書	なし (オリジナルプリント)
対象生徒	中学 1 年生～中学 3 年生

1. 授業の目標

- ①韓国語の基礎を習得し、日常の挨拶や自己紹介を韓国語でできるようにする。
- ②韓国の文化や生活に興味を持って、日本との違いを比較してみる。

2. 副教材・参考書

オリジナルプリント

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・授業で配布するプリントをファイリングして、毎回の授業に持ってくること。
- ・授業で学んだ韓国語表現を家庭でも発音してみること。

4. 宿題・課題・再試について

りんどろ祭に向けて、調べ学習やプレゼン用のスライド作成などを課されることがある。

5. 評価の基準について

授業への出席状況によって評価する。

6. その他

授業計画	
学期	授業内容 (教材)
前期 (りんどろ祭まで)	1. 韓国語の挨拶 2. 韓国語で自己紹介 3. 韓国語の発音(母音と子音のしくみ) 4. ハングル文字の書き方 5. 韓国の文化と生活 6. K-POP について 7. 韓国語の基本文法 8～13. りんどろ祭に向けての発表準備

単位数	1 単位
担当	講師, 平田, 山口, 山本
教科書	特になし
対象生徒	中学 1 年生～中学 3 年生

1. 授業の目標

フランス語とともにフランスの文化に興味を持ち自ら探究し、その魅力を発信できるようになることを目標とする。言語そのものでは、日常に溢れるフランス語を見つけ、その読み方・響きに慣れていく。最終的にはフランス語で自己紹介が出来たり、旅行をした際に現地の人と最低限のコミュニケーションができるようにする。

文化の面では、絵画や音楽等の芸術、料理、ファッションなど、フランス由来のものが何かをまず知り、それらの魅力を探っていく

2. 副教材・参考書

とくになし。教員作成の資料など

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

フランス語独特の響き、リズムがあります。積極的に発音をして楽しんでいきましょう。

4. 宿題・課題・再試について

りんどう祭前には、発表資料の作成などがあります。

5. 評価の基準について

・授業への出席状況によって評価する。

6. その他

授業計画	
学期	授業内容 (教材)
前期 (りんどう祭まで)	①4.15 オリエンテーション (自己紹介、クイズ)、ABC
	②5.13 基本的な挨拶、体調を尋ねる (体調が良い場合、悪い場合)
	③5.20 名前、住んでいるところ、兄弟 (友達) やペットについて話す (ポールとヴィルジニー)
	④5.27 アイスと色 椅子取りゲーム
	⑤6.3 『星の王子さま』の朗読 (CD や youtube の動画を用いる)
	⑥6.10 りんどう祭班分け、発表準備 (1 「体調 (②) & 自己紹介 (③)」、 「アイス (④)」、 『星の王子さま』 (⑤))
	⑦6.17 ⑧7.1 ⑨9.9 ⑩9.16 ⑪9.30 りんどう祭発表準備
	⑫10.7 りんどう祭授業内リハーサル
	⑬10.10 りんどう祭当日
	〈りんどう祭の発表〉
	1 「体調 (②) & 自己紹介 (③)」、 2 「アイス (④)」、 3 『星の王子さま』 (⑤)」 の 3 グループに分かれて発表する。 ※グループの数は変動の可能性がある
	1 フランス語で体調を尋ね合う、自己紹介をする (可能な人は自分のペットの写真を見せる)
	2 アイスの絵、または画像を作成し、それを見せながら、アイス絵を用いて説明された教科書のフランス語 (～が好きである、色) を暗唱する
3 『星の王子さま』の内容紹介とフランス語での朗読を行う	

21WS 前期(2026 年度)

単位数	1 単位 (10 月りんどう祭まで)
担当	茶道：池永 華道：菅 中野・栗山・時田
教科書	
対象生徒	中学 2 年生・中学 3 年生

1. 授業の目標

- ①茶道と華道を体験することで、日本の伝統文化の理解を深める。
- ②技術や作法の習得をするとともに、こころを豊かにする。

2. 副教材・参考書

なし

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・時間に遅れずに集合する。
- ・挨拶・言葉遣いなど礼儀正しく授業に参加する。
- ・技術の習得のために、繰り返し練習を行う。

4. 宿題・課題・再試について

りんどう祭発表に向けて、技術の習得のため練習を行う場合がある。

5. 評価の基準について

- ・授業への出席状況によって評価する。

6. その他

- ・中 1 は、韓国語・フランス語・中国語のうち必ず 1 つを選択する。中 2・中 3 は、日本文化・プログラミングを加えた 5 つから 1 つを選択する。
- ・りんどう祭では、全ての授業が、講堂ステージで、成果発表を行う。

授業計画		
学期	日程	授業内容 (教材)
前期 (りんどう祭まで)	4 月 15 日	日本文化ガイダンス (短縮授業) 9:40~10:30
	5 月 13 日	華道① 9:50~10:40
	5 月 20 日	華道②
	5 月 27 日	華道③
	6 月 3 日	華道④ (短縮授業) 9:40~10:30
	6 月 10 日	茶道①
	6 月 17 日	茶道②
	7 月 1 日	茶道③
	9 月 2 日	中 1 不在のため なし
	9 月 9 日	茶道④
	9 月 16 日	茶道・華道 りんどう祭の発表練習
	9 月 30 日	茶道・華道 りんどう祭の発表練習
	10 月 7 日	茶道・華道 りんどう祭の発表練習 (短縮授業)
	10 月 9 日 (金)	りんどう祭準備内でリハーサル
10 月 10 日	りんどう祭当日 発表会	

21WS 前期 プログラミング(2026 年度)

単位数	1 単位
担当	横溝, 太田
教科書	プリント、iPad
対象生徒	中学2年生～中学3年生

1. 授業の目標

- ①プログラミング学習を通して論理的思考を含む情報活用能力を身につける。
- ②簡単なコンテンツ（ゲームなど）を企画しまとめることができる。

2. 副教材・参考書

iPad のアプリ、プリントを適宜配布

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・授業で学んだ単元を繰り返し学習する。
- ・公開されているコンテンツなどを参考に予習する。

4. 宿題・課題・再試について

りんどう祭に向けてコンテンツを作成し、説明用のプレゼンスライドを作成する。

5. 評価の基準について

- ・授業への出席状況によって評価する。

6. その他

授業計画	
学期	授業内容（教材）
前期 (りんどう祭まで)	1. プログラミングの基本（逐次処理、イベントドリブン） 2. プログラミングにおける音の取り扱い（拡張機能1） 3. 繰り返し処理のプログラミング 4. 条件分岐のプログラミング 5. 配列データを使ったプログラミング 6. カメラを使ったゲーム（拡張機能2） 7. 夏休み課題 8. りんどう祭に向けてのプレゼン準備